

2006 年度

科目名 教職研究	対象学科・学年 文学部教職 2 回生 教育教職 2 回生	担当者 三宅 奎介
授業テーマ 教職への志向を高揚する。 これからの教員に求められる資質能力を培う。		
授業の概要と目標 教育職員養成過程において体得するべき教員の資質と能力は、専門職としての教職に対する愛着と誇りを根底にして、感性によって支えられた知識・技能の総体である。本講座では学校が抱える諸問題や学校改革の課題を中心に学力の捉え方や授業づくり、人権教育の課題等の内容で授業を進める。他の教職教科とも連動させ、研究を進める中で、受講者が教員としての資質や能力を向上させ、合わせて教育活動に対する意欲を培うことを授業の目標とする。		
評価方法 授業目的の到達度の判断として ①課題ごとのレポート 1 ページ (A4 版) 程度 (40%) ②期末試験 (60%) ③授業態度 (10%) を基準に総合的に決定する。		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 毎回、レジュメを配布する。 適宜、参考書籍を紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ・オリエンテーション ・教員に求められる資質を探る ・教職の意義 ・教員の職務内容 ・教職観 ・教員の仕事と服務 ・学力の基礎的な理解 ・学力とは何をさすか ・学力論議をどう捉えるか ・授業展開の基礎的な条件 ・学習指導要領と教育課程を考える・学習指導案 ・授業の実践事例から考える (楽しい授業、分かる授業) ・「教科書の内容を教える」授業でいいのか ・進路指導の有り方について ・キャリア教育は新しい課題か ・同和教育の理解と実践 (課題をどう捉えるか) ・識字教育の実態を知ろう。 ・人権教育読本「にんげん」について ・障害児教育の理解と実践 (親の気持ちを考えよう) ・特別支援教育とは ・不登校の実態と対策 (担任はどう対応したらいいのか) ・適応指導教室とは ・生徒指導の課題 (体罰はなぜ起こるのか) ・関係機関との連携 ・開かれた学校の組織体制 (共通認識と集団指導をどうつくるか) ・学校評価 ・学校評議員制度 ・教員の悩みと不満 ・勤務の実態、職務と休養、研修制度 ・教職への志向と自己教育 (学校は楽しい職場になるか) ・同僚性意識 ・職務の達成感 ・まとめ ・期末試験		